

1 題材 みんななかよく（人間関係）

2 本時の指導と児童の活動

(1) 本時のねらい

資料文の主人公のうさぎくんが取るべき行動を考え、学級のみんと話し合うことで、分け隔てなく人と接しようとする気持ちを高める。

(2) 情報活用能力の育成について

友達を考えやそう考えた理由を知り、自分の考えと比べることで、自他の考えの似ている点や異なる点に気付き、様々な考え方があることを理解する。

(3) 準備 資料文「だれにたくさんあげようかな」、きもちシート、うさぎ・ねずみ・パンダ・くまの絵、花の名札

(4) 本時の展開

時間配分	学習活動	指導上の留意点
10分	1 資料文の朗読を聞いて内容を知り、本時の課題をつかむ。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 資料を通読し、内容を理解させる。 ○ ケーキをどう分けるか悩んでいるうさぎ君に、どんなアドバイスをするか考えるのが本時の課題であることを確認する。
うさぎ君は、このあと誰に一つ多くケーキをあげたらいいと思いますか？		
5分	2 選択肢の中から自分の考えに合うものを一つ選び、意思表示を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 三つの選択肢を色で分類し（ねずみに多くあげる→青、パンダに多くあげる→赤、くまに多くあげる→黄）、自分の考えに合う色をきもちシートに塗らせる。 ○ 黒板に貼られた動物たちのなかで、自分の選んだものの近くに自分の名前が書かれた花の名札を貼るように指示する。
25分	3 板書と花の名札をもとに、お互いの考えを伝え合い、より良い解決策はどれかを考える。	<ul style="list-style-type: none"> ○ それぞれの考えについて、教師が理由を尋ねながら、順に話し合わせる。 ○ その場で出た疑問や反対意見は、整理しながら板書し、対応関係が一目で分かるようにする。 ○ 誰かにケーキを一つ多くあげた場合、必ず不満に思う人が出てくることに気付け、働きぶりに関わらず公平・公正にふるまうことの大切さに気付かせる。
<p>評価事項</p> <p>お互いの考えを伝え合うことで、自他の考えの似ている点や異なる点に気付き、様々な考え方があることを理解している。 【発言・活動の様子】</p> <p>□…花の名札に着目させ、自分と似た考えや異なる考えの友達の存在に気付かせる。</p> <p>☆…自分と友達の考えを比べた上で、より良い解決策は何かについて考え、そう考えた理由を説明することができる。</p>		
5分	4 全体でふり返りを行う。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本時の話し合いの感想を自由に発表させる。

※斜体・・・情報活用能力を育成する学習活動